

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで  
つながろう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「地域、次世代と共に、  
明るく!楽しく!!朗らか!!!に  
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー  
2560地区ガバナー 大谷 光夫  
高田ロータリー会長 高坂 光一  
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

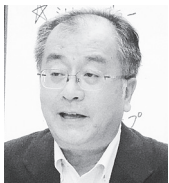
クラブ広報・会報・雑誌委員  
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守  
木村 隆

## 第7回例会 ■ 8月23日(金)

No.7

### 会長挨拶 ● 高坂 光一

#### 防災の基本は「自助」



9月1日は防災の日です。災害は忘れたころにやってくると言われてきましたが、最近は忘れる暇もなく、毎年自然災害による被害が起き憂慮されます。災害時は先ず命の確保、続いて命の持続が求められます。その為に避難訓練への参加や防災用品の備蓄等を行い防災の基本「自助」の心構えを大切にしてください。防災用品の備蓄は「ローリングストック法」をお勧めします。この方法は連続的に備蓄を消費購買する方法で、常に状態に適した備蓄の可能性が高まります。

さて、本日の卓話は春日部西 RC の永田さんからポリオについてです。永田さんは5年前に東京のRA から紹介され、その後、チームポリオや他地区、海外のロータリアンとの出会いのきっかけを多く頂いています。RC は多くのきっかけを秘めています。これからも様々なご縁に恵まれば嬉しい限りです。※防災用品は特別な物ではなく、身の回りの使い慣れたシンプル機能の物が役立つことが多いです。もし、新たに揃えるのであれば同一電池 (例:単四) 使用機器、太陽光利用ランタンがお勧めです。(特に私のようなずぼら人間には最適)

災害対策には決して模範回答はありません。先ずはご家庭、職場で話し合うことが大切です。

来月は基本的教育と識字率向上月間です。日本では加えて特別月間としてロータリーの友月間です。恥ずかしながら私は初めて知りました。

### 出席報告

出席率 100%

### ビジター

椿井琢光君 (第7分区ガバナー補佐)  
佐藤明臣君 (新井 RC)  
小坂靖至君 (高田東 RC)

### メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君 (8/19 新発田 RC・8/21 新津 RC・白根 RC・新津中央 RC 公式訪問)  
大谷光夫君・本山秀樹君・水上喜芳君 (8/22 村上 RC・村上岩船 RC 公式訪問)

### お客様スピーチ



椿井第7分区ガバナー補佐——IM ゴルフ大会のご案内



小坂靖至君——加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019 御協力御礼

### 委員会報告

出席・ニコニコ BOX 委員会

椿井 G 補佐——IM が近づいてきました。宜しくお願ひします。今日ゴルフ大会の参加者様へ案内をお持ちしました。

小坂靖至君——加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019 ご協力ありがとうございました。8月4・5日高田寿悦氏無事歩行援助、歓迎会を行うことが出来、11日加賀市に到着しました。

永田雄治君——本日はお世話になります。

### 幹事報告

配布物: 週報No.5・6

回覧: シエナ・スピリッツ上越公演 2019 チラシ

### ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

9月3日 村松 RC・五泉 RC・阿賀野川ライン RC  
4日 佐渡南 RC  
5日 佐渡 RC

## 卓話

# ポリオワクチン投与活動の最前線では

第2770地区春日部西RC 永田 雄治様



最初にトップニュースとして8月21日に遂にアフリカのナイジェリアではポリオの発生が3年間確認されなかったと報道がありました。3年発症がないとWHOから根絶宣言が出されますが、現在その確認を行っておりますのでしばらくすると正式に「根絶宣言」が発表されます。これにより残りはアフガニスタンとパキスタンの2カ国となり、世界の99.99%がポリオフリーとなります。

それでは、私の体験をお話します。

私は2012年からインド、2016年からパキスタンでのポリオワクチン投与活動に参加をしております。切欠は国際ロータリーの最重要項目であるポリオ撲滅（現在はポリオ根絶）を知ろうと思っていたところ、第2830地区（青森）の関場慶博さんが毎年インドで活動されていることを知り地区へ問い合わせたところから始まります。この活動は2001年当時にガバナーをされた関場氏が地区プロジェクトとして継続して行っているもので、他地区からの参加も可能とのことで2012年に仲間へ入れていただきました。ご縁があり、翌2013年からは事務方をする事になり、関場氏に代わりインドポリオプラス委員会と連絡を取りながら現在も引き続き活動を行っております。

※現在このグループは「チームポリオジャパン」の名称で活動しております。

インドは2014年にWHOから「ポリオ根絶宣言」がされてはいますが、それ以降の現在も活動は行なわれております。それは、隣国パキスタンでは根絶されていないこともあり国境を越えてウイルスが入り、それがまだワクチンを投与されていない子供達への感染と広がって行くからです。インドでは隣接する国に出入りする際には全ての子供へワクチン投与が義務付けられており、2014年からKeep Polio Freeの状況が続いております。

パキスタン（南部カラチ）では2016年から活動を始めました。パキスタンは皆さんもご存知の通り北部やアフガニスタン国境付近ではテロが発生しており、現在も外務省の海外安全情報では全土はレベル2（不要不急の渡航は渡航中止）、アフガニスタン国境付近はレベル3（渡航中止勧告）が出されておりますが、比較的 안전한南部カラチではWHOとロータリーメンバーが中心となり活動を行っております。

2016年と2017年はまずはひとりで訪れてインドの次のステージとして活動できるかの確認作業を行いました。特に最初に訪れた2016年は安全と言われ

る南部カラチでもかなりの緊張感の中での活動視察となりました。軽装甲車と自動小銃を持った警察官7名に警護されてスラム街を訪れた際には、重要人物と間違われテロに合わないかと恐怖を感じましたから。

2017年にはだいぶ治安が良くなったと感じておりましたが2018年に更に回復をして、2016年と同じスラム街を訪れた際には子供達が笑顔で走り回るシーンを見ることもありました。念のために同じ警護が着きましたが、警察の方もこの2年でとって治安が回復したと話しておりました。

北部やアフガニスタン国境から逃れた方がカラチの街へ入るには、高速のゲートと鉄道の駅を通過するのですが、7年前から24時間体制でワクチン投与活動を行っております。また、スラム街（逃れた方が住み着くところ）ではワクチンの投与する以前に水が確保されておらず、現在はココ・コーラと共同でソーラーパネルから電源を取り井戸から水を汲むプラントを設置し、そのあとに子供達へワクチンを投与する活動も行っております。

世界からポリオが根絶されれば天然痘に続いて2つ目となります。残り2カ国ですが一番の問題は治安です。未開の地で活動をする事ができればウイルスは一掃されますが現在の状況では難しいですが、治安の安定したエリアから引き続き活動を続けて行ければと思っております。

最後に日本での話です。日本では新生児に18ヶ月までに四種混合ワクチンで4回の接種でポリオ対策をしております。2017年の統計ですが年間921,000人の子供が生まれポリオだけの費用として1回あたり5,000円ですので総額で約184億円を使っています。因みに上越市は毎年1,500人の子供が生まれていますので約3,000万円を使っております。

世界からポリオを根絶できればこの費用を他に使うことができるのです。

残り2カ国まで来ましたが、ここで止めてしまえば直ぐにでも広がってしまうことでしょう。残り僅かと言われ続けているプロジェクトですが、世界のロータリアンと根絶を成し遂げた瞬間を思い活動を続けて参ります。

以上です。

卓話とは本来は卓越したお話ですが、今日はダラダラと思いつきで話してしまい申し訳ありませんでした。このような機会をいただきました高坂会長とクラブメンバーの皆様へ感謝をして終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

## 9月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
9	9月6日	会員卓話 渡邊 隆君 演題 上越への愛 (仮)	デュオ・セレッソ
10	9月13日	卓話者 弁護士法人つばき 上越つばき法律事務所弁護士 原野聖子様 演題 弁護士の裏ばなし (仮)	デュオ・セレッソ
11	9月20日	祝日振替休日	-
12	9月27日	卓話者 株式会社井上商会 井上健一郎様 演題 ヤミ市横丁の研究 (仮)	デュオ・セレッソ